

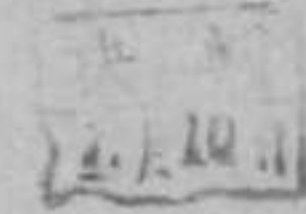
17

24



次官

五



條三普通合第二五八一號

昭和十六年七月三日

文書課長

厚

生

次

官

殿

事務官



外

務

次

官

主任



附屬物同封

印

在羅馬日伊文化聯絡協議會第一回會議議事要
錄假譯送付ノ件

二月十四日在羅馬中亞極東協會ニ於テ開催セラレタル日伊文化聯
絡協議會第一回會議議事要錄假譯作成致シタルニ付御參考迄右一
部玆ニ送付ス

本信送付先 文部、厚生、大藏、逓信、内務各次官

外務省

(日本標準規格B5)

159

裏面白紙

裏面白紙

條約三三課

在羅馬日伊文化聯絡協議會第一回會議議事要録(假譯)

日時 一九四一年二月十四日

場所 中亞極東協會

出席者

伊太利側

一 外務省總務局長(本會議議長) 伯爵レオナルド・ヴィテツテ

二 伊國翰林院員、中亞極東協會副會長 ジュゼッペ・トウツチ

三 民衆文化省宣傳局長 アルマンド・コック

四 外務省海外局長 レナート・ブルナス

五 文部省大學局長代理 サンジョルジョ検査官

六 對外文化協會(IRCE) 侯爵エンリコ・ジュステイニ

七 同

ジーノ・ボルフィリオ

日本側

一 在羅馬日本大使館參事官
 二 同大使館附陸軍武官陸軍大佐
 三 同大使館一等書記官
 四 同 三等書記官
 五 朝日新聞社特派員
 六

安 東 義 良
 清 水 盛 明
 眞 瀨 金 太郎
 井 上 堅 曹
 前 田 義 德
 野 上 素 一

裏面白紙

裏面白紙

劈頭「グイテッテイ」議長ヨリ一九三九年三月二十三日東京ニ於テ締結セラレタル文化協定ノ精神ニ従ヒ日伊兩國間ノ文化關係ヲ益益増進セシムルハ伊國政府ノ希望スル所ナル旨挨拶アリタル後日本側委員ニ對シ手許ニ配布セラレタル覚書ニツキ伊太利側委員ト共ニ検討セラレ度キ旨述ヘタリ

協議事項

一 英學金ニ關スル件

本件ニ關シ伊國側ノ提案左ノ如シ

- (1) 學資ヲ給與スヘキ學生數ヲ兩國共ニ三名ヨリ七名ニ増加シ且夫々ノ學資給與額ヲ伊國側ハ月額千五百「リラ」ニ日本側ハ二百五十圓乃至二百八十圓ニ増額スヘキコト
- (2) 旅費ハ其ノ金額ノ大ナル點及送金ノ困難ナル點ニ鑑ミ學生ヲ派遣スヘキ政府ニ於テ負擔シ滞在費ハ相手國ニ於テ負擔スヘキコト

(3) 學生ノ待遇ニ當リテハ既ニ大學ヲ卒業シタル者ニテ留學セン
トスル國ノ言葉ヲヨク解スル者ノ中ヨリコレヲ選フヘキコト
日本側委員ハ石ノ提案ニ關シ本國政府ニ於テ十分考慮スヘキ旨
回答セリ然シ乍ラ學資給與額ノ増減ニ就テハ學生ニ對シ不足ナ
ク且牝カシカラサル生活ヲ保證スル必要アルコトハ伊太利側委
員ト意見ヲ同シクスルモノナルモ相互的増額ヲ行フニ當リ爲替
相場ニ據ルヨリモ寧ロ夫々ノ貨幣ノ購買力ニ據ル方安當ナルヘ
ク而シテ日本側ノ給與額二百圓ハ伊太利側ニ於テ日本國學生ニ
對シ給與セラレタキ月額千五百「リラ」以上ニ相當スルモノナ
ル旨述ヘタリ

伊國側委員ハ此ノ點ニ關シテハ在東京伊國大使館ニ日本ニ於ケ
ル生活費ニ就キ報告ヲ求メ右ニ依リ研究スヘキ旨回答セリ
尙學生ノ所在ニ關シテハ一ヶ所ニ集合スルコトナク專攻科目ニ
ヨリ夫々適當ナル地方ニ在任セシムヘシトノ提案アリタリ

(例へハ伊國ニ留學ノ日本國學生ノ中文學ヲ專攻スル者ハ羅馬
ニ科學專攻ノ者ハ「トリノ」市及「ミラノ」市ニ赴カシムル
等)
次ニ伊國側委員ハ次學年度(一九四一―四二年)ニ於テ現下ノ
戰時狀態ナホ繼續スル場合ハ學生數ヲ減スルコトアルヘキ旨申
出タルニ對シ日本側委員ハ之ヲ諒承セリ

裏面白紙

ニ羅馬ニ日本文化會館 (Accademia)

一 設立ノ件

諸外國ハ羅馬ニ夫々ノ文化會館ヲ所有シ居ル處日本文化會館ノ設立ハ日伊文化關係ニ關スル問題ヲ容易ナラシムヘク若シ日本政府ニ於テ右文化會館建設ノ希望ヲ有スル場合伊國政府ヨリ日本政府ニ對シ右敷地トシテ寄贈スヘキ土地ノ「ヴァレ・ジエリ」
「ア」ニ用意セラレ居ル旨伊國側委員ヨリ説明アリタリ

日本文化會館ハ「ベルギー」國文化會館ノ如ク羅馬ニ於テ研究セントスル教授及學生ノ宿舍ノ設備アルモ可ナルヘシ又日本文化會館館長ニハ羅馬大學日本文學教授ヲ之ニ任命スルヲ得ヘシ該文化會館ハ羅馬ニ於ケル他ノ類似ノ施設ト同様免稅ノ特點ヲ與フヘシ

日本政府ハ右文化會館ヲ建造シ且之ヲ維持シ羅馬ニ於ケル學者學生ノ滞在ニ便宜ヲ供與シ又日本ニ興味ヲ有スル伊國人ノ日本研究ヲ容易ナラシムルノ目的ヲ有スル日本文化ノ中心地タラシ

×

裏面白紙

メラレ度シ

伊國側委員ハ本件實現ノ第二ゾ方法トシテ羅馬ニ開催セラルヘ
キ萬國博覽會ノ日本館ヲ恒久的ノモノトシ博覽會終了後日本文
化ノ中心地タラシムルモ可ナラント提案セリ

尙右敷地「ヴァレ・ジュリア」ノ敷地ヨリ廣シ一ノ無償提供
方ニ關シ博覽會長ニ依頼スルコトヲ得ヘク且同館ヲ一時的ノモ
ノトナスモ恒久的ノモノトナスモ費用ノ點ニ於テ左程變リナカ
ルヘシ

日本側委員ハ右敷地ノ寄贈ニ對シ謝意ヲ表シ本提案ヲ本國政府ニ
移牒スヘキ旨述ヘタリ

三 日本語及日本文化講座設置ノ件

羅馬大學ニ日本語及日本文化講座設置方ノ件ニ關シテハ東京ノ大學ニ伊國語及伊國文化講座ノ設置ヲ待ツノミニシテ東京及羅馬ニ相互的ニ講座ヲ設ケ教授ヲ送り兩國ノ高キ文化ヲ代表セシムルハ兩國文化ノ爲益スルモノナルヘキ旨提議セリ

伊國側委員ハ伊國內法ニ依リ國內學校ニ外國人教授ヲ任命シ得サルニツキ右ノ如キ交換ノ建前ヲ以テ兩國政府間ニ特別ノ協約ヲ結ブ必要アル旨説明セリ、尙報酬ニ關シテハ日本人教授ハ官立大學ノ教授ト同等ノ待遇ヲ受クヘキ旨附言セリ

日本側委員ハ右ヲ本國政府ニ移牒スヘキ旨述ヘタリ

四 出版物及圖書交換ノ件

伊國側委員ハ日本側委員ニ對シ定期及不定期刊行物並ニ圖書ノ交換ニ關シ日本側ニ於テハ如何ナル團體ノ當事者タルヘキカラ質問シ伊國側ニ於テハ伊國對外文化協會（IROCOE）カ本事業

ニ當ルヘキ旨述ヘタリ圖書交換ニ關シテハ日本ニ伊太利文庫ヲ
伊國ニ日本文庫ヲ設置スルノ趣旨ニヨリ同協會ニ於テ提案ヲ作
成シ日本側委員ニ送付スヘキ旨述ヘタリ

裏面白紙

五 伊國語ニヨル日本語文法書ニ關スル件

該文法書ハ殆ト完成シタルカ印刷ニ移ス前ニ日本國ノ專門家ノ校閲ヲ受クヘキ旨伊國側委員ヨリ報告アリタリ

六 講演者、音樂家、觀光客等ノ交換ニ關スル件

現下ノ非常時局繼續スル間ハ講演者、音樂家、觀光客ノ交換ヲ延期スヘキコトニ意見ノ一致ヲ見タリ

七 「ヴェネチア」隔年展覽會ニ日本國參加ノ件

本件ニ關ル伊國側委員ヨリ左ノ如キ説明アリタリ本件ハ講題外ナルモコノ機會ニ日本カ「ヴェネチア」ニ於テ隔年開催セラレル國際現代美術展覽會ニ參加スルコトハ藝術的並ニ經濟的見地ヨリ見テ意義深キコトヲ述ヘシメラレ度シ該展覽會（春季末ニ開會秋季末ニ終了）ハ世界各國ノ現代美術ノ優秀作品ヲ展示シ右作品ヲ賣買スル所ノ國際市場ナリ日本ニ於テモ斯卡ル展覽會ニ大小藝術作品ヲ花々シク出品スルコトヲ得ヘシ（小品モ出品

裏面白紙

ヲ許サレ藝術上及經濟上相當成功ヲモタラスモノナリ。最近伊國ニ於テ開催セラレタル日本現代美術展覽會ハ既ニ三十年前ノコトナルヲ記憶セラレタシ
日本政府ノ參加ニハ多數ノ出品物ヲ陳列スヘキ日本館ノ建設ヲ必要トスルモノナリ然レトモ右ヲ新タニ建設セス購入セラレ度キ場合ハ目下自國館ノ外ニ埃太利館ヲ所有スル獨國政府ト直接交渉セラレ度シ
尙兩國委員ハ「ラギオ」映畫其他ノ諸件ニ關スル協議ヲ次回ニ譲ルコトニ意見一致セリ

伊國側委員長 「ヴァイテッタイ」
(署名)

日本側委員長 安藤 義良
(署名)

滿監第二三四〇號

昭和十六年十月二十八日

對滿事務局次長 荒川昌二

厚生次官 兒玉九一 殿



訓令、通牒等送附方依頼ニ關スル件

貴官竝ニ貴各局長ヨリ地方長官等ニ對シ訓令若ハ通牒等ノ發セラルル場
合ハ關東州ニ於テモ社會事業遂行上萬遺憾ナキヲ期シ度ニ付特ニ右寫三
部送附方御配慮相煩度此段及依頼候

裏面白紙